

AMAT 隊員養成研修レポート

9月8日、9日の両日において、石川県金沢市で行われた全日本病院協会主催の AMAT 隊員養成研修に南多摩病院から医師、看護師、救急救命士の3名が参加いたしました。

AMAT とは、全日本病院協会が組織する災害時医療支援活動班として「All Japan Hospital Association Medical Assistance Team」を略して「AMAT」と定めており、現在、全国2500箇所余りの医療機関がこの全日本病院協会に参画し、その中で既に約600名以上が AMAT 隊員として登録されています

AMAT は、地震など大災害が発生した際、医師、看護師、業務調整員の計3名が一つのチームとして現地に赴き、会員病院を始めとする民間病院や災害時要援護者に対する支援、また避難所での巡回診療、多様な医療チーム等との連携を含めた災害医療活動を行うことを任務としております。

そのため、昨年の熊本地震に際して、当院 AMAT チームは本震発生当日から被災地へ派遣され、医療救護活動を行いました。

今回の研修では災害時(急性期～亜急性期)における医療活動上の必要な知識・技能の習熟を図るための専門講師による講義と設問に対する派遣シミュレーションが行われ、最終日には筆記試験と実技試験により研修成果が確認されました





当院では毎年数回、全国各地の主要都市で行われている養成研修に必ず職員を派遣しており、現在、AMAT 資格保持者が既に 18 名、また厚生労働省が所管する DMAT 及び日本医師会の JMAT の資格を有する職員もあり医師、看護師など総勢 28 名が在籍しています。

南多摩病院では昨今、発生が危惧されている首都直下型地震の対応を含め、今後も全国のどこかで発生するであろう大災害に対し、迅速かつ的確な災害医療を提供できるように、これら有資格者の継続的な養成に取り組んでいきます。